

フェアトレード

長野県長野工業高等学校 情報工学科
佐藤慧斗 清水理輝



株式会社
トランス



適正価格で
取引される



生産者が
収入を得る



安定した生産が
できる



生育環境が
整備される



製品の質が
向上する



フェアトレードの
仕組み

理由

- フェアトレードについてより詳しく知りたかったから
- 授業をやってフェアトレードについて興味を持ったから



身近な
フェアトレード
商品

(画像はオリジナルです)



380円



350円



現状

- 年々関心が高まり広がっているが、認知・規模ともに限定的
- ヨーロッパでは、多くの流通で取り扱われ通常商品との価格差も限定的
- 通常商品と3～4倍と大きな価格差がある商品が多い

問題点

- 他商品と比べて価格が高い
- 大量生産が難しい
- 品質を安定させるのが難しい
- 支援団体も資金力が乏しいところが多いためコストがかかる

今後の課題

- フェアトレード市場育成のための政府の政策と支援
(フェアトレードの全国ネットワーク組織を設立し、全国的なキャンペーンの実施や統一ロゴなどの導入によって認知率を上げる)
- フェアトレードへの自治体の取り組み
ex. エシカル消費
(人や社会、環境に配慮したもののやサービスを選んで消費すること)

SDGsの実現に向けて ～10代からの提言～

- フェアトレード商品を積極的に買って貧困な国々に少しでも貢献してもらいたい
- フェアトレードについて関心を高めてほしい

考察・感想

- フェアトレードについて知ることができたが、まだ知らないことが多いと思うので機会があったら調べたい。
- 問題点を改善するために、全世界の協力が必要だと思った。